

日本大学経済学部の学生が農作業体験と地域活性化に関する調査を実施

< 福島県 >

市町村・集落の名称	本宮市
協働の相手（企業や大学等）の名称	日本大学経済学部 沼尾ゼミ、新海ゼミ
仲介者・コーディネーターの名称	福島大学行政社会学部教授 今井 照 氏
協働のポイント	農業や地域活性化について、学識経験者（今井教授）を交えた討論を実施しており、農産物の販路拡大や都市交流がキーワードとなっていたところにたまたま沼尾先生を紹介された。
協働のきっかけ・経緯	今井先生から紹介され、沼尾ゼミの夏合宿を受け入れたのが直接のきっかけであり、本宮市の諸問題（地域・農業の活性化）について研究する場を提供し、学生の目を通した解決策についての提言を受ける。
取組の具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・春から秋にかけて田植えや稲刈り、畑作物の種植え収穫等の農作業や民泊を実施。 ・駅前商店街や小・中・高校生へのアンケート調査を実施。 ・一店逸品調査を実施。 ・飲食店街の調査を実施。
農村地域への効果	グリーン・ツーリズムへの理解と農家民宿取組のための協議会が設置された。また、学生を抵抗なく受け入れられるようになった。
都市部の主体（企業や大学等）への効果	自らが手掛けた農産物や加工品の販売や本宮市のPR活動を学園祭で行うようになり、好き嫌いがなくなるなど「農」に対する学生への理解が深まったものと思われる。
仲介者等の役割	研究成果を交互の大学で発表し、議論を交わすなど大学間や学生間の連携や探求意欲を掻き立てる役目や地方が抱える諸問題について問題提起してくれている。
今後の課題	交流を始めてから4年が経過し学生達が単にイベントとして捉えているのではないかと危惧される。今後継続して実施するためにも新たな工夫が必要と思われる。また、少なからず経費がかかる点が課題としてあげられる。
関連事業（国・都道府県等）	H16～H19地域づくりサポート事業（福島県） H20～市単独事業

(活動状況写真等)



ナス苗定植



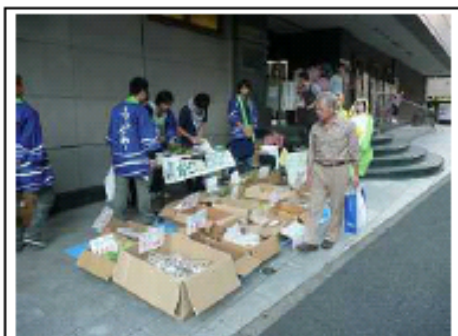
田植え



ナス収穫作業



除草作業



学園祭野菜販売状況



学園祭餅つき状況